



ギノウス株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 川崎 浩司

SDGsの達成に向けた取り組み

『人が喜ぶ会社』を目指し、より良い社会の実現に貢献する

- 当社は三芳町を拠点として、1962年の創業以来60年以上にわたり左官工事業等を行っており、『お客様の想いを形にし、社会に価値をもたらす』『お客様との強い絆を大切にし、信頼に応える』をミッションとして事業を行ってきました。
- 今後も、企業理念である『人が喜ぶ会社』実現を追求することを通じて、様々な社会課題の解決にも貢献していきます。
- そのため、社員の誰もが働きがいのある職場を目指すため、様々な職場環境の改善、働きがい向上に関する制度の導入を実施していきます。具体的には、研修室の拡充、社員食堂（早朝から営業、オーガニック食材使用）の整備、他を順次行っていきます。
- また、外国人を含めて積極的な新規採用を予定していることから、業務マニュアルを充実させていくほか、社員の資格取得を応援していくことに加え、外国人へのマナー教育や日本語教育にも力を入れていきます。



【指標】

社員が喜ぶ仕組みづくり	⇒ 2030年 累計5件
日本語検定試験（N3）合格者割合 2024年 0%	⇒ 2030年 90% (+90%)
左官技能士試験合格者割合 2024年 1級 0%/2級 10%	⇒ 2030年 1級 30%/2級 70%
PDCA社内試験合格者割合 2024年 0%	⇒ 2030年 90% (+90%)
業務マニュアルの整備 2024年 作成率20%	⇒ 2030年 作成率100% (+80%)

環境や社会にやさしい建設業を目指す

- 建設業の責任として、各種の環境に配慮した取り組み（水質汚染ゼロ活動、環境配慮型車両への入れ替え、省エネルギーに向けた社内の取り組み、産業廃棄物の削減、他）の実施により、会社全体でのCO2排出量の削減や環境保全の取り組みを行っていきます。
- 業務の効率化や電子化をさらに進め、ペーパーレス化や事業系ゴミの削減を進めていきます。
- 多発する災害へ備えるため、BCP（事業継続計画）を作成し、その実効性を高めるとともに、社員の安全対策も実施していきます。



【指標】

廃棄物の削減、分別、排水の浄化、リサイクルの徹底	⇒ 2030年 累計8項目実施
会社全体でのCO2排出量削減に向けた取り組みの数	⇒ 2030年 累計8項目実施
社有車の環境配慮型車両の比率 2024年 80%	⇒ 2030年 100% (+20%)
社員のエコバック使用率 2024年 10%	⇒ 2030年 90% (+80%)
コピー用紙使用量の削減 2024年 150,000枚/年	⇒ 2030年 30,000枚 (△80%)

地域貢献活動を通じて持続可能な社会を実現していく

- 今後、業務の拡大を予定していることから、日常お世話になっている地域への貢献として、積極的な新規採用を行っていきます。
- また、現在行っているボランティア活動（神明社（三芳町）の維持管理、清掃活動）に加え、今後も様々な地域貢献活動を行っていきます。



【指標】

地域からの新規採用数 2024年 社員100名	⇒ 2030年 社員150名 (+50名)
地域貢献活動の種類 2024年 1種類	⇒ 2030年 4種類 (+3種類)

